

## 調査票

### 問1 男女共同参画に関する認知度

あなたは、これらの言葉を御存知ですか。アからコのそれぞれの言葉について、該当するものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

言葉	よく知っている	知っている	聞いたことがある 言葉くらいは	知らない	無回答
ア 男女共同参画社会	6.9%	34.0%	34.1%	23.9%	1.0%
イ 女性活躍推進法	2.1%	15.9%	38.1%	41.4%	2.5%
ウ 愛媛県男女共同参画推進条例	0.9%	7.4%	28.6%	60.6%	2.5%
エ 愛媛県男女共同参画推進委員制度・苦情処理機関	0.8%	4.1%	19.8%	72.9%	2.4%
オ 愛媛県男女共同参画センター	2.5%	15.2%	29.0%	50.9%	2.4%
カ 配偶者暴力相談支援センター	2.1%	17.0%	35.7%	42.7%	2.5%
キ えひめ性暴力被害者支援センター	1.5%	14.0%	34.0%	47.7%	2.8%
ク ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)	7.9%	22.4%	26.9%	39.8%	3.1%
ケ ドメスティック・バイオレンス(DV)	22.9%	57.3%	11.3%	6.4%	2.1%
コ デートDV(交際相手からのDV)	14.3%	42.8%	20.6%	19.7%	2.5%

### 問2 男女の地位の平等感

あなたは、次の各分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。アからキのそれぞれの分野について、該当するものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
ア 家庭の中で	8.0%	47.4%	29.1%	4.8%	1.7%	7.2%	1.9%
イ 職場の中で	10.6%	48.0%	19.7%	4.8%	1.1%	12.9%	2.9%
ウ 地域社会の中で(町内会、自治会など)	10.2%	44.9%	20.4%	4.3%	0.7%	16.9%	2.6%
エ 社会通念や慣習やしきたりなど	17.1%	55.9%	10.4%	1.0%	0.7%	11.8%	3.2%
オ 法律や制度のうえで	7.2%	37.8%	30.8%	4.1%	1.1%	15.7%	3.3%
カ 政治の分野で	21.7%	48.2%	12.7%	1.4%	0.3%	12.8%	2.9%
キ 学校教育の分野で	4.1%	25.2%	46.1%	3.3%	0.3%	18.0%	3.0%

### 問3 性別を理由に人権が守られていないと思う事項

性別を理由に人権が守られていないと思うのは、どのような場合だと思いますか。あなたのお考えに近いものを次の中から、三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	就職先の制限や職場での待遇の違い(賃金などの労働条件で男女格差がある等)	51.8%
2	職場でのセクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)	32.6%
3	ドメスティック・バイオレンス(配偶者間、共同生活中の交際相手からの暴力など)	26.6%
4	男女の固定的な役割分担意識(「男は仕事、女は家庭」など)を他の人に押しつけること	51.5%
5	ヌード写真など、「性」を商品化した雑誌や広告などが使われる	18.3%
6	売春、買春	18.0%
7	「女子アナ」「女医」といった女性にだけ用いられる表現が存在する	13.7%
8	ミス・コンテストなど外見や若さのみで評価される	14.1%
9	その他	1.9%
10	特になし	9.2%
11	わからない	10.9%
	無回答	1.8%

### 問4 女性に対する暴力をなくすための方策

女性に対する暴力をなくすためにはどうしたらよいと思いますか。あなたのお考えに近いものを三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	法律・制度の制定や見直しを行う	39.5%
2	犯罪の取締りを強化する	37.4%
3	捜査や裁判での担当者に女性を増やし、被害女性が届けやすいようにする	36.6%
4	被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	5.7%
5	被害女性のための相談所や保護施設を整備する	37.1%
6	家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	16.6%
7	学校における男女平等や性についての教育を充実させる	31.8%
8	新聞、ラジオ、テレビやインターネット等のメディアが倫理規定を強化する	14.2%
9	過激な内容のDVD、ゲームソフト、インターネット映像等の販売、貸出や配信を制限する	21.9%
10	ドメスティック・バイオレンス(DV)被害者に対する支援体制を強化する	20.0%
11	その他	2.6%
12	特に対策の必要はない	0.8%
13	わからない	6.9%
	無回答	1.6%



## 問7 メディアにおける性や暴力の表現

新聞、ラジオ、テレビやインターネット等のメディアにおける性や暴力の表現について、あなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から二つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	女性の性的側面を過度に強調するなど、行き過ぎた表現が目立つ	25.6%
2	社会全体の性に関する道徳観・倫理観が損なわれている	32.9%
3	女性に対する犯罪を助長するおそれがある	17.8%
4	そのような表現を望まない人や子どもの目に触れないような配慮が足りない	37.2%
5	女性のイメージや男性のイメージについて偏った表現をしている	20.5%
6	その他	1.6%
7	特に問題はない	12.4%
8	わからない	15.7%
	無回答	2.7%

## 問8 行政が力を入れるべき事項

男女共同参画社会を形成していくために、今後行政はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	男女平等を目指した法律・制度の制定や見直しを行う	27.7%
2	女性を政策決定の場に積極的に登用する	20.2%
3	民間企業・団体などの管理職に女性の登用が進むよう支援する	17.4%
4	地域の組織や団体の女性リーダーの育成を支援する	12.9%
5	女性や男性の生き方や悩みに関する相談の場を提供する	12.0%
6	従来、女性が少なかった分野(研究職、防災関係など)への女性の進出を支援する	10.2%
7	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する	30.9%
8	学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	26.8%
9	労働時間の短縮や在宅勤務の普及など男女ともに働き方の見直しを進める	24.4%
10	子育てや介護中であっても仕事が続けられるよう支援する	38.0%
11	子育てや介護中などでいったん仕事を辞めた人の再就職を支援する	28.1%
12	男女の平等と相互の理解や協力についてPRする	9.0%
13	女性に対する暴力を根絶するための取組を進める	7.1%
14	その他	1.5%
15	わからない	6.3%
	無回答	1.9%

## 問9 結婚、家庭、離婚についての意見

結婚、家庭、離婚について、あなたの御意見をお伺いします。アからオまでの各項目ごとに「そう思う」「どちらともいえない」「どちらかといえばそう思わない」「そう思わない」など五つの選択肢の中からそれぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
ア 結婚は個人の自由であるから、人は結婚してもしなくてもどちらでもよい	45.6%	21.0%	17.4%	8.0%	5.9%	2.0%
イ 夫婦が別姓を名乗るのを認めた方がよい	15.2%	15.7%	35.5%	12.4%	18.2%	3.0%
ウ 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に賛成である	2.9%	6.7%	25.8%	16.9%	45.2%	2.6%
エ 仕事を持っている場合でも、家事・育児は女性がする方がよい	2.8%	9.4%	20.8%	18.1%	46.4%	2.6%
オ 一般に今の社会では離婚すると女性の方が不利である	26.4%	28.7%	25.8%	6.5%	10.1%	2.4%

## 問10 子どもに受けさせたい教育

あなたは自分の子どもに対して、どの程度の教育を受けさせたいと思いますか。自分の子どもが男の子の場合と女の子の場合ごとに、それぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

(子どものいない方や既に子どもが社会人になっている方は、仮に、これから教育を受ける子どもがいるとしてお考えください。)

	高校 まで	専門学校 まで	短大・ 高等専門 学校まで	四年制 大学まで (六年制 を含む)	大学院 まで	子ども 次第	その他・ わからない	無回答
ア 男の子の場合	2.5%	1.2%	2.1%	40.9%	3.2%	45.7%	1.8%	2.6%
イ 女の子の場合	3.0%	2.6%	6.7%	33.6%	2.0%	46.8%	1.8%	3.5%

## 問11 教育に対する意識

教育について、次のような考え方をどう思われますか。アからオのそれぞれの項目について該当するものをそれぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらとも いえない	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	無回答
ア 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしくしつけるのがよい	15.1%	29.4%	27.1%	10.6%	15.2%	2.6%
イ 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい	59.0%	30.8%	5.7%	1.3%	0.9%	2.3%
ウ 学校で出席簿の順番など「男子が先」という習慣をなくした方がよい	23.0%	12.9%	43.8%	6.6%	9.9%	3.7%
エ 女性は文系、男性は理系の分野が向いている	0.6%	3.3%	31.9%	9.5%	51.2%	3.5%
オ 知的な能力は、性別による差よりも個人差の方が大きい	60.1%	22.0%	9.5%	1.3%	3.1%	4.0%

## 問 12 女性がもっとついった方がよい役職や公職

あなたは、次にあげるような役職や公職に女性が「もっとついった方がよい」と思いますか。アからカの項目ごとに、次の中からそれぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

	そう思う	そう思わない	わからない	無回答
ア 町内会長、自治会長	42.0%	22.6%	32.0%	3.4%
イ PTA会長	45.9%	20.0%	30.0%	4.1%
ウ 職場の管理職	59.3%	15.0%	21.5%	4.3%
エ 県や市町の審議会委員	59.3%	11.7%	25.4%	3.6%
オ 知事や市町長	55.2%	15.6%	25.3%	3.9%
カ 国、県、市町の議会議員	63.2%	11.8%	21.8%	3.2%

## 問 13 女性リーダーを増やすときの障がい

政治・経済・地域・家庭などの各分野で、女性のリーダーを増やすときに障がいになるものは何だと思いますか。次の中からあなたのお考えに近いものを二つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1 上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと	31.7%
2 現時点では、必要な知識や経験などを持つ女性が少ないこと	15.9%
3 女性自身がリーダーになることを希望しないこと	18.2%
4 長時間労働の改善が十分ではないこと	25.0%
5 企業などにおいては、管理職になると広域異動が増えること	13.7%
6 保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと	42.1%
7 保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと	34.1%
8 その他	2.0%
9 わからない	6.8%
無回答	1.5%

## 問 14 ポジティブ・アクションに対する考え方

「意思決定の場等における男女間の格差を改善するため、有能な女性を積極的に役職等に登用するなど、特別な措置を講じる必要がある。」という考え方(ポジティブ・アクション)がありますが、あなたはこのことについてどうお考えでしょうか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを一つ選んで番号を○で囲んでください。

1 そう思う	30.1%
2 どちらかといえばそう思う	37.6%
3 どちらともいえない	24.1%
4 どちらかといえばそう思わない	2.8%
5 そう思わない	3.6%
無回答	1.9%

## 問 15 地域の防災活動における男女の活動

自治会、町内会など地域の防災活動における男女の活動について、あなたはどのようにお考えですか。あなたのお考えに近いものを次の中から二つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	男性の参加が少ない	13.4%
2	女性の参加が少ない	24.8%
3	男性の意見が反映される場が少ない	1.8%
4	女性の意見が反映される場が少ない	17.7%
5	男女の仕事の分担が偏っている	29.4%
6	現状で特に問題はない	18.1%
7	その他	2.7%
8	わからない	37.4%
	無回答	1.5%

## 問 16 家庭での役割分担

(現在、夫や妻(事実婚や単身赴任など別居を含む)、生活の本拠を共にする交際相手のいらっしゃる方へ)

あなたの家庭では、今、どのような役割分担になっていますか。アからクの項目ごとに、次の中からそれぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

	主に女性の役割	男女とも同程度	主に男性の役割	どちらともいえない	無回答
ア 掃除をする	43.4%	17.8%	3.3%	3.0%	32.5%
イ 洗濯をする	51.9%	11.7%	2.1%	1.8%	32.6%
ウ 食事の支度をやる	57.9%	7.4%	1.2%	1.4%	32.0%
エ 食事の後片付けをする	43.5%	16.3%	5.3%	2.4%	32.5%
オ 日常の家計の管理をする	47.6%	11.9%	5.5%	2.6%	32.4%
カ 育児をする	40.6%	15.3%	0.3%	7.9%	35.8%
キ 地域活動(町内会、PTA、ボランティア等)をする	23.2%	16.6%	17.0%	10.2%	32.9%
ク 介護をする	25.2%	16.0%	1.9%	22.2%	34.7%

(「無回答」には、現在、夫や妻(事実婚や単身赴任など別居を含む)、生活の本拠を共にする交際相手のいない方も含む)

## 問 17 家事・育児・介護の分担等

家事・育児・介護の家庭内での分担や保育や介護サービスなどの積極的な社会支援について、あなたはどのようにお考えでしょうか。(1)、(2)について、それぞれ一つずつ選んで番号を○で囲んでください。

(1) 家庭内の家事・育児・介護の分担について

1	主として女性が受け持つ方がよい	10.6%
2	男女が共同して分担する方がよい	76.2%
3	主として男性が受け持つ方がよい	0.3%
4	その他	3.7%
5	わからない	4.2%
	無回答	5.0%

(2) 育児・介護に対する社会支援について

1	基本的に家族が行うべきである	20.6%
2	女性の活躍を促進する観点からも社会による保育や介護サービスなどの積極的な支援が必要である	66.6%
3	その他	1.9%
4	わからない	6.1%
	無回答	4.8%

## 問 18 家庭での役割分担の現状

実際のあなたの御家族の生活として一番近い姿はどれですか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

1	男性は仕事、女性は家事、育児、介護(以下家事等と表現する)を担当している	20.3%
2	男性は仕事、女性は家事等に差し支えない範囲で仕事をしている	20.1%
3	男女ともに仕事をし、家事等は主に女性が担当している	27.0%
4	男女ともに仕事をし、家事等もお互いに協力して行っている	20.3%
5	男女ともに仕事をし、家事等は主に男性が担当している	0.1%
6	女性は仕事、男性は家事等を担当している	0.8%
7	女性は仕事、男性は家事等に差し支えない範囲で仕事をしている	0.9%
8	男女ともに仕事をし、家事等は他の家族や民間のサービスなどに任せている	0.6%
9	その他	9.8%
	無回答	0.0%

## 問 19 家庭での役割分担の現状に対する満足度

問 18 でお答えいただいた実際の御家族の生活の姿について、あなたはどのように感じていますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください。

1	十分満足している	22.5%
2	ある程度満足している	55.8%
3	満足していない	16.5%
	無回答	5.2%

## 問 20 本県における女性の労働条件

本県では、女性が職業を持ち、続けていくために必要な条件が整っていると思いますか。次の中から一つ選んで番号を○で囲んでください

1	十分整っている	1.5%
2	ある程度整っている	38.6%
3	あまり整っていない	45.0%
4	整っていない	10.5%
	無回答	4.4%



## 問 21 出産後働き続けるために家庭・社会・職場において必要なこと

女性が出産後も離職せずに同じ職場で働き続けるために、家庭・社会・職場において必要なことは何だと思いますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	保育所や学童クラブなど、子どもを預けられる環境の整備	68.8%
2	介護支援サービスの充実	21.1%
3	家事・育児支援サービスの充実	16.7%
4	男性の家事参加への理解・意識改革	26.4%
5	女性が働き続けることへの夫や家族など周囲の理解・意識改革	29.7%
6	女性が働き続けることへの上司や同僚など職場の理解・意識改革	32.8%
7	男女双方の長時間労働の改善を含めた働き方の充実	19.4%
8	職場における育児・介護との両立支援制度の充実	29.9%
9	短時間勤務制度や在宅勤務制度などの導入	20.5%
10	育児や介護による仕事への制約を理由とした昇進などへの不利益な取扱いの禁止	10.7%
11	その他	1.8%
12	わからない	2.8%
	無回答	2.6%

## 問 22 男性が家事・育児を行うことへのイメージ

あなたは、男性が家事、育児を行うことについて、どのようなイメージを持っていますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	男性も家事、育児を行うことは当然である	62.2%
2	家事、育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる	30.1%
3	男性自身も充実感が得られる	31.6%
4	子どもにいい影響を与える	65.5%
5	仕事と両立させることは、現実として難しい	32.1%
6	家事、育児は女性のほうが向いている	14.4%
7	妻が家事、育児をしていないと誤解される	9.5%
8	周囲から冷たい目で見られる	3.0%
9	男性は・家事育児を行うべきではない	0.5%
10	その他	2.1%
11	わからない	4.1%
	無回答	2.3%

## 問 23 男性の家事等への参加に必要な条件

今後、男性が女性とともに家事、子育てや教育、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。(複数回答)

1	男性が家事・育児などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	49.3%
2	男性が家事・育児などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	6.9%
3	夫婦や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	55.3%
4	年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること	32.2%
5	社会の中で、男性による家事・育児などについてもその評価を高めること	31.2%
6	男性による家事・育児などについて、職場における上司や周囲の理解を進めること	42.6%
7	労働時間短縮や休暇制度、テレワークなどのICTを利用した多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること	25.6%
8	男性の家事・育児などについて、啓発や情報提供、相談窓口の設置、技能の研修を行うこと	8.2%
9	男性が家事・育児などを行うための仲間(ネットワーク)作りをすすめること	10.7%
10	その他	1.9%
11	わからない	5.0%
	無回答	2.6%

## 問 24 生活の中での優先順

生活の中での「仕事」「家庭生活」「地域活動・学習・趣味・付き合いなどの「地域・個人の生活」の優先順について伺います。(1)、「2)について、それぞれ一つ選んで番号を○で囲んでください。

(1) あなたの希望に最も近いものについて

1	「仕事」を優先したい	4.1%
2	「家庭生活」を優先したい	20.3%
3	「地域・個人の生活」を優先したい	5.4%
4	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	38.4%
5	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	5.1%
6	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい	12.2%
7	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべて優先したい	8.6%
8	わからない	3.6%
	無回答	2.3%

(2) あなたの現実・現状に最も近いものについて

1	「仕事」を優先している	17.1%
2	「家庭生活」を優先している	20.3%
3	「地域・個人の生活」を優先している	4.0%
4	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	27.9%
5	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	5.0%
6	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	8.7%
7	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」すべて優先している	6.6%
8	わからない	7.8%
	無回答	2.8%

## 問 25 今後女性の活躍が重要となる分野

今後、どの分野での女性活躍が重要だと感じますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答)

1 政治	59.7%
2 行政	57.6%
3 雇用(民間企業)	56.3%
4 農林水産業	14.6%
5 教育・研究	52.3%
6 地域(自治会やPTA等)	38.8%
7 防災・復興	28.8%
8 その他	2.9%
無回答	3.9%

## 問 26 男女共同参画社会の実現に向け、県が実施すべき事業

男女共同参画社会の実現のため、県はどのような事業を実施すればいいと思いますか。御自由にお書きください。

## 問 27 行政への要望事項

男女共同参画社会の実現のため、県や市町に対しての御要望や御意見などがありましたら、御自由にお書きください。